

東北地方の指導にあたって ～伝統文化と地域の変化を中核とした考察

●『学習指導要領解説』の抜粋

日本の諸地域について、幾つかに区分し、その地域的特色や地域の課題を理解する。次の①から⑤までの考察の仕方を基に、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追及したり解決したりする活動を通して、知識及び思考力、判断力、表現力等を身に付けることができるよう指導する。

①自然環境を中核とした考察の仕方、②人口や都市・村落を中核とした考察の仕方、③産業を中核とした考察の仕方、④交通や通信を中核とした考察の仕方、⑤その他の事象を中核とした考察の仕方。

⑤その他の事象を中核とした考察の仕方

例えば、地域の産業、文化の歴史的背景や開発の歴史に関する特色ある事象、地域の環境問題や環境保全の取組、地域の伝統的な生活・文化に関する特色ある事象などを中核として、地域的特色や地域の課題を捉えることが考えられる。そこに暮らす人々の生活・文化、地域の伝統や歴史的な背景、地域の持続可能な社会づくりを踏まえた視点（内容の取扱い）については、従前の学習指導要領で考察の仕方として用いていたもので、これらの視点は、適切に区分された地域においても関連させることができる。

●指導上の留意点

東北地方は、関東地方以西と比べて、明治時代以降の地域開発や経済発展が遅れ、また、第二次世界大戦後の太平洋ベルトの形成とは対照的な地域となっている。その一方で、厳しい自然環境に対する工夫や努力によって、米の生産量を順調に伸ばし、国内有数の穀倉地帯になったことを理解させながら、その後の日本の食料事情の変化により、新たな工夫や努力が必要になっていることを合わせて考えさせたい。工業も、交通網の整備による首都圏との時間距離の短縮などを経て、IC、電気機械を中心として工場移転など発展を遂げたが、地域内で見ると首都圏により近い宮城県や福島県が総合的に有利であることを理解させたい。

東北地方には、日々の生活と結びついた伝統行事や、特色ある民家や食文化、地元の原材料を生かした伝統工芸が各地に見られる。今日では、伝統行事は観光資源としても注目を浴び、伝統的工芸品も芸術的価値を見出されたことで付加価値を高めるなどの変化をみせている。これらの元来の目的や発展過程など、東北の歴史的、地理的な背景をもとに東北地方の人々の暮らしを理解させたい。

●ワークシートの単元構成 〈想定する時間数:全体で5時間〉

時数	単元名	学習内容	主な学習項目	ページ
1	東北地方をながめて	東北地方の位置と広がり 自然環境、各県の概要	地形、気候の特色、人口動態	p.86
2	伝統的行事と人々の暮らし	豊かな文化 伝統文化の歴史的背景	伝統行事（祭り）、伝統工業 馬とのかかわり	p.87
3	稲作農家の暮らし	寒冷な気候と稲作 安定生産のための工夫	冷害、やませ、品種改良 ブランド米、食生活の変化	p.88
4	工業化と暮らしの変化	工業化と企業の進出	交通網の発達、IC産業、時間距離	p.89
5	東北地方のまとめ	大きくとらえた東北地方	白地図を利用して、東北地方の特色を整理する	p.90

東北地方 ①

東北地方を ながめて

●学習のねらい●

地図帳を使って、東北地方の位置、範囲、構成する県、大都市を確認しよう。

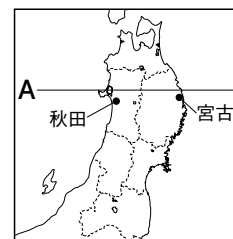
東北地方には、奥羽山脈が中央を南北に走り、そのかたわらを太平洋側に北上高地、阿武隈高地、日本海側に羽山、越後山脈が列をなすように走っています。そして、それらの山脈、高地の間に盆地や平野が広がっています。また、海岸付近を見ると、太平洋側の三陸海岸には入り組んだ海岸線のリアス海岸、日本海側には単調な海岸線の砂浜海岸と、対照的な地形が見られます。

気候を比べても、太平洋側と日本海側では違いがみられます。太平洋側は寒流である親潮（千島海流）の影響を受けているのに対し、日本海側は暖流である対馬海流の影響を受け、冬には北陸地方と並ぶ日本有数の多雪地帯となります。その結果、同緯度の太平洋側よりも日本海側の地域で、夏の気温や年平均気温が

高くなっています。また、太平洋側では、夏に親潮の上を通過してくる「やませ」とよばれる冷たい北東風が冷害をもたらすことがあります。

東北地方の範囲は南北に長く、同じ東北地方であっても、東京－福島間の距離は約270km、東京－青森間の距離は約700kmと大きく異なります。東京からの距離は、東北地方における産業の発達、人口数や人口分布に深くかかわっており、最も南に位置する福島県は首都圏と結びつきを強めています。また、東京との時間距離は、東北新幹線、山形新幹線や秋田新幹線、東北自動車道を中心として山形自動車道、秋田自動車道などの交通網の整備によって短縮され、日本海側の地域にも首都圏との結びつきが強まっています。

課題 1 右の地図中の線Aは、北緯40度です。この緯線が通過する国や外国の都市を地図帳で調べて、書き出そう。



課題 2 次の表の宮城県の数値を他県と比較して、宮城県の様子についてわかることを考えよう。

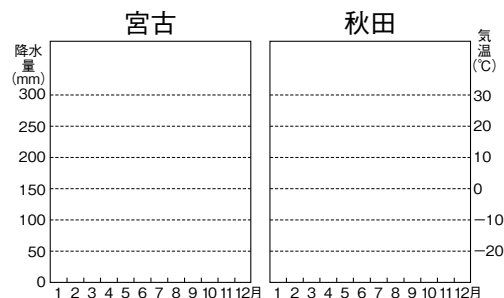
(国勢調査ほかより)

(県名)	人口 (2019年) (万人)	人口密度 (2019年) (人/km ²)	産業別人口構成 (2017年)		
			第一次産業 (%)	第二次産業 (%)	第三次産業 (%)
宮 城	231	317	3.9	23.6	72.5
青 森	126	129	12.0	20.8	67.2
岩 手	124	80	9.9	26.3	63.8
秋 田	98	83	7.8	25.5	66.7
山 形	109	116	8.4	28.5	63.1
福 島	186	134	6.3	31.1	62.6

課題 3 次の表から、気温と降水量のグラフを作成しよう。

各地の月平均気温（上段、℃）と降水量（下段、mm）（「理科年表 2021」より）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年
宮古	0.3	0.4	3.3	8.7	13.0	16.0	19.8	22.2	18.8	13.3	7.8	3.1	10.6
	60.6	60.1	82.1	100.6	93.9	116.4	159.0	171.3	213.7	125.7	80.1	64.8	1328.0
秋田	0.1	0.5	3.6	9.6	14.6	19.2	22.9	24.9	20.4	14.0	7.9	2.9	11.7
	119.2	89.1	96.5	112.8	122.8	117.7	188.2	176.9	160.3	157.2	185.8	160.1	1686.6



課題 4 作成したグラフから太平洋側と日本海側の気候の特徴を比べよう。

東北地方 ②

伝統的行事と人々の暮らし

●学習のねらい●

東北地方に今も息づく伝統的行事について、その歴史や意味、またそれを守り伝える人々の思いについて考えよう。

東北地方の開拓が本格的に進んだのは江戸時代以降で、日本の他の地方と比べて地域開発は遅れていました。平安時代には、奥州藤原氏が現在の岩手県平泉町に中尊寺を建立するなど独自の仏教文化が發展しましたが、東北地方は京都から見て奥地という意味の「みちのく」「陸奥」などとよばれていました。

東北地方の各地には、さまざまな伝統文化や年中行事がみられ、地域に生活する人々によって次の時代へ保存・伝承していくための活動が行われています。例えば各地の「まつり」では、農作物の豊作を願うもの、仏教や神道などの信仰にまつわるものなどさまざまな起源があり、多様性に富んでいます。そのなかでも特に、青森ねぶたまつり、秋田竿燈まつり、

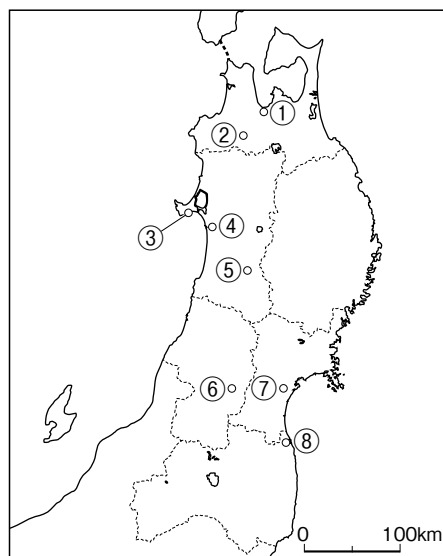
仙台七夕まつりは東北三大まつりとよばれ、地元の人々の努力もあり、全国に知られるようになりました。これらのまつりは、毎年8月の開催時期になると多くの観光客を集める大きな観光資源となっています。

一方、伝統的工芸品は、長い冬の期間に地元の資源や産物を利用し、熟練の技術を用いて、現在まで受け継がれているものです。また、芸術的な工芸品であるにもかかわらず、日常生活に利用されるものが多いことも特徴の一つです。しかし、若い後継者が不足していることや地元産の原材料が手に入りにくくなるなど、伝統を受け継いでいくうえでの課題が生じています。国の伝統的工芸品に指定されているものもあります。

課題 1 次のア～クの伝統行事（まつり）が行われている場所を右の地図中より選び、番号で答えよう。

- | | |
|---------------|----------------|
| ア 秋田竿燈まつり () | イ 弘前ねぶた祭 () |
| ウ 山形花笠まつり () | エ 仙台七夕まつり () |
| オ 相馬野馬追 () | カ 青森ねぶたまつり () |
| キ かまくら () | ク なまはげ () |

課題 2 なぜ、人々は伝統的行事を守り伝えているのか考えて、まとめよう。



課題 3 次のア～オの伝統的工芸品が発達している県を調べて書き入れよう。

- | | | |
|--------------|---------------|-----------------|
| ア 南部鉄器 () 県 | イ 津軽塗 () 県 | ウ 大館曲げわっぱ () 県 |
| エ 会津塗 () 県 | オ 天童将棋駒 () 県 | |

課題 4 伝統的工芸品が発達した理由を考え、まとめよう。

課題 5 岩手県では、「南部曲家」「チャグチャグ馬コ」のように馬に関連した家屋やまつりがみられます。なぜ、馬に関連したものが多いのか、調べよう。

東北地方 ③

稲作農家の暮らし

●学習のねらい●

稲作が東北地方の主要農産物になるまでの歴史、その現状、問題点を考えてみよう。

東北地方の全県で、第一次産業に従事する人の割合は全国平均の3.4%を上回っており、青森県では12%、岩手県・秋田県・山形県では10%弱となっています(2017年10月1日現在)。作物としては、稲作と果樹栽培に特徴がみられます。東北地方の米の収穫量は全国の29%を占め、稲は東北地方の農家にとって最も重要な作物となっています(2020年)。

東北地方の自然環境のなかで、元来熱帯地域の農業である稲作をどのように発展させてきたのでしょうか。それは、第二次世界大戦後の農地改革により、広い耕作地が増えたこと、保温折衷苗代や品種改良などの栽培技術の革新によるものでした。現在では、秋田平野、庄

内平野、仙台平野などは、「日本の穀倉地帯」、「米どころ」などとよばれるまでの産地となりました。

また、太平洋側の地域では、夏に「やませ」とよばれる冷たい北東風が吹き込みます。「やませ」は親潮(千島海流)の上を通ってくるため濃霧を発生させ、それによって日照時間が短くなり冷害をもたらします。そのため、「やませ」対策は農家にとって重要な課題でした。

近年は、食生活の変化により、米の消費量が減少したことが農家の悩みになっています。そこで、各農家は「はえぬき」「あきたこまち」や「ひとめぼれ」などの銘柄(ブランド)米とよばれる付加価値の高い米の生産に力を入れています。

課題 1 冷害をもたらす「やませ」とはどのようなものか、まとめよう。

課題 2 寒冷地での稲作にみられる工夫を答えよう。

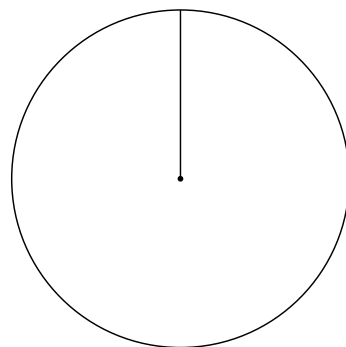
課題 3 銘柄(ブランド)米とよばれる米には、どのようなものがあるか調べてまとめよう。

課題 4 次の表を参考に、右の円グラフを完成させよう。なお、数値は小数第一位まで求めること。

【水稻の収穫量(2020年)】

県	千 t	県	千 t
青 森	284	山 形	402
岩 手	279	福 島	367
宮 城	377	東北地方計	2236
秋 田	527		

(農林水産省資料より)



課題 5 次の表「日本の一人当たりの米の消費量」を見て、冷害以外に稲作農家がかかえる課題は何か、考えてまとめよう。

年	kg
1960	114.9
1970	95.1
1980	78.9
1990	70.0
2000	64.6
2010	59.5
2019	53.0

(農林水産省資料より)

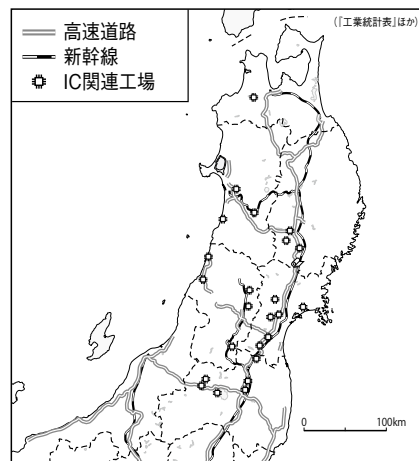
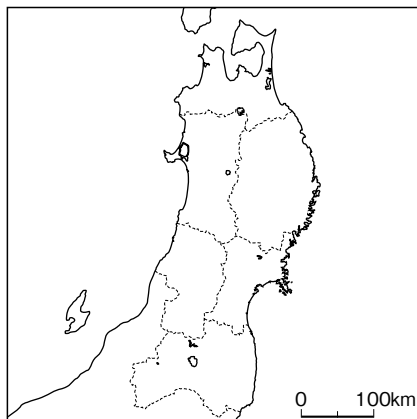
工業化と暮らし の変化

とうほく とくちょう
東北地方の工業の特徴
と問題点を考えよう。

なかでも、東北自動車道は、そのインターチェンジ周辺に集積回路（IC）の工場が数多く進出したことから、「シリコンロード」とよばれたりしました。このように、交通網^{もう}の整備が進んだ地域では工場進出がみられ、地域の雇用^{こよう}にも効果がみられました。

また1980年代には、より安い労働力を求めて中国へ、さらに東南アジアの各国へ工場が移転していく企業が増え、東北地方に進出していた企業の中にも生産を減らしたり、閉鎖したりするものも現れています。一方、新たに岩手県・宮城県の高速道路のインターチェンジ付近を中心に、自動車工場やその部品工場が進出しています。

- ・東京こおりやま一郡山
() 時間 () 分
- ・東京せんだい一仙台
() 時間 () 分
- ・東京あきた一秋田
() 時間 () 分
- ・東京やまがた一山形
() 時間 () 分
- ・東京しんあおもり一新青森
() 時間 () 分

[illegible]

東北地方 ⑤

東北地方の まとめ

●学習のねらい●

東北地方について学習してきたことがらを、地図で確認しながらまとめよう。

青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県、福島県の6県からなる東北地方は広大で、関東地方の2倍ほどの面積があります。交通網の整備、特に東北新幹線の開通後、ミニ新幹線方式で山形新幹線、秋田新幹線が整備され、すべての県が東京と結ばれるようになりました。また、東北地方を東西に分ける奥羽山脈を越え、太平洋側と日本海側が結ばれたことで経済活動がより活発になりました。なかでも、東北地方で唯一の政令指定都市である仙台市は、交通機関の高速化により短時間で他県との移動が可能になり、東北地方の中心地としての役割がますます大きくなりました。

農業では、1995年に主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律（食糧法）の施行によって、米の販売が自由になるようになったため、稲作農家は「おいしい」「安全」など特徴のある米を作ることになりました。また、夏に晴天が多く高温になる盆地では、りんご、ぶどう、おうとう（さくらんぼ）、桃などの果樹栽培が行われ、米と並ぶ重要な農作物になりました。三陸海岸では、漁港の設置に適したリアス海岸の地形や、沖合に世界有数の大漁場があることから、石巻、八戸、気仙沼などで水産業が発達し、波静かな湾内を利用したわかめやほたて貝の養殖も盛んになっています。

課題 1 次の①～⑫の文章は、地図中の①～⑫について説明したものです。①～⑫の（ ）に当てはまる語句を記入しよう。

- ① （ ）トンネルは、本州の（ ）半島と北海道を結ぶ世界最長の海底トンネルである。
- ② 青森市の郊外にある（ ）遺跡は、今から5500～4000年前の（ ）時代の大規模な集落の遺跡で、巨大な建築物の柱のあとなどが発見されている。
- ③ （ ）市は、りんご栽培が盛んな（ ）平野にあり、江戸時代に城下町として発達した都市である。
- ④ （ ）湖は、火山活動によってつくられ、紅葉の美しさで知られるカルデラ湖である。
- ⑤ （ ）山地は、貴重なブナの原生林を有し、ユネスコの（ ）に登録されている。
- ⑥ （ ）は、かつては日本第2位の面積の湖だったが、第二次世界大戦後、米の増産を目的とした農村建設のため（ ）されてできたものである。
- ⑦ この地域で見られる（ ）海岸は、山地が海にすずんでできた海岸で、入り組んだ海岸線が特徴である。かつて大きな（ ）の被害を受けたことから、堤防が作られるなどの対策が行われている。
- ⑧ （ ）町では、平安時代に中尊寺金色堂でも知られる奥州（ ）氏の文化が栄えた。
- ⑨ （ ）市は、沖合が暖流と寒流がぶつかる（ ）になっている大漁場であり、東北有数の漁獲量を誇る港を有している。水産加工業も発達している。
- ⑩ （ ）市は、東北地方唯一の政令指定都市で、東北地方の政治・経済・文化の中心地である。
- ⑪ （ ）盆地は、日本国内のおうとう（さくらんぼ）栽培の中心地である。
- ⑫ （ ）平野は、最上川下流に広がる平野で、日本有数の米どころである。

